

4. グループ討議を踏まえた発表内容

●雪だるまチーム

若い世代だけが拓いていくのではなく、若い世代と「ともに」拓いていくまちづくりを基本としたい。

私は、中学生。学校の先生（大人）は、自分は行動していなくて、言うだけ。先生やまちの大人が手本となる行動をして欲しい。これをベースに、若い人が自分で考えて行動していくのが一番いいまちづくりではないか。

●サンタチーム

むずかしいことを言う前に。あいさつ・コミュニケーションをとって、話し合いをすすめていくことが大事。

●天使チーム

万事が市民個人のモラルに関わること

- ・スーパーの障害者用スペース（駐車場）を勝手に使う人（健常者）が多い。
- ・一宮市は、外からの者（新しい者）を受け入れがたいムード（？）がある。

●リースチーム

若い人が集い、参加できる場所が欲しい。今そういう場所がない。活動の発表をする場所などがいる。

例えば、祭りやイベントで場を提供するなど参加する機会を作っていけば、コミュニティが広がっていく、まちづくりに関わっていくのではないか。

みんなで話ができる、また、参加している実感がもてる場があると良い。

若い人が参加できるコミュニティがあると良い。

●となかいチーム

ゴスペル・ダンスが楽しい→今回のウェルカムソング、施設での発表→喜んでもらえる時、もらえない時があるけれどやりがいはある→練習場所が欲しい
練習場所や発表する場所が欲しい。

●ツリーチーム

全世代が明るく元気に安全に暮らせるまち

子供の笑顔が輝くことが大切

条例が絵に描いたモチにならないようにコミュニケーションが重要。

現状では、年配者、子供を持ったものは接点があるが、子供を持たない20代、30代にとっては、まちづくりとの接点がない。

若い世代が発表したり練習したりする場が欲しいというのは、「街」と「まち」の違い、「ハウス」や「ホーム」の違いと同じで、練習・発表できる施設ハードなものであるが、そこに向かい入れられるコミュニケーションが欲しい・大事になってくる。人生の先輩方々が率先

してアプローチして欲しい。参加できる場があっても、参加しにくい雰囲気であるといけない。場がないのと同じ。物質的なものではなく、コミュニケーション力が大事。コミュニケーションの場が広がれば、問題を持っている人たちの解決につながっていく。